

インストール前に以下の情報を確認・メモしておく

<ネットワーク設定>

サーバーのホスト名（コンピュータ名）：
サーバーの固定IPアドレス：
サブネットマスク：
DNS（ネームサーバ）のIPアドレス：
デフォルトゲートウェイIPアドレス：
プロキシサーバーの有無、ポート番号、パスワード等：

<サーバーのアカウント設定>

rootユーザーのパスワード：
一般ユーザーのID：
一般ユーザーのパスワード：

<MySQLのアカウント>

rootユーザーのパスワード：
《（EUC）の場合》
XOOPSデータベースの名前（EUC）：xoops
XOOPSデータベースユーザーのID（EUC）：xoops
XOOPSデータベースユーザーのパスワード（EUC）：
《（UTF8）の場合》
XOOPSデータベースの名前（UTF8）：xoops8
XOOPSデータベースユーザーのID（UTF8）：xoops8
XOOPSデータベースユーザーのパスワード（UTF8）：

<XOOPSのアカウント>

XOOPSサイト管理者のID：
XOOPSサイト管理者のパスワード：
XOOPSサイト管理者のメールアドレス：

<インストールディスク準備>

CentOS 5のDVD・CDディスクを用意。雑誌の付録などでも可。最新版でなくてもアップデートするので問題ない。<雑誌のディスクを使うことを大いに推奨！>古いパソコンにインストールする場合はCDの方が有利な場合がある（DVDドライブがない場合など）。

（自分でインストールディスクを作成する場合は倍速に注意すること。ドライブとディスクの性能に合わせた速度で。等倍（1倍速）など遅すぎるとレーザー照射が強すぎて返って良くない。ダウンロードしたisoイメージをイメージとして焼く。）

※インストールCD・DVDのバージョンが異なるので画面表示は微妙に異なる場合あり。

パソコンの起動をDVDドライブから（BIOSの確認）、DVDディスクを入れて電源を入れなおす。DVDドライブから起動。

（パソコンのBIOSバイオスをDVDドライブからブートするように優先順位を確認する。基本の順位は、1：フロッピー→2：DVDドライブ→3：ハードディスク）。

画面下に boot： と表示されたら[Enter]キーを押して次に進む。

次の画面では[矢印キー・Tabキー]を使って[skip]にカーソルを移動させて[Enter]キーを押し次へ進む。

<CentOS 5 インストール開始前画面>

画面が表示されたら [Next] をクリックする。

<言語の選択>

スクロールして [japanise (日本語)] を選択
[Next] をクリックする

<キーボード>

日本語用を選択 (106か109日本語キーボードを選択。標準で選択されているもの)
[次] をクリックする

※インストールかアップグレードか聞いてくる場合はインストールを選択する

<初期化>

ハードディスクを初期化する旨を聞いてきた場合は、迷わず [はい] を選択する。
[次] をクリックする

<パーティション>

LINUX標準で問題ない。ただし、他のOSが入っていた場合、一旦削除し、多種のOSを同居はさせないこと

[選択したドライブ上のすべてのパーティションを削除してデフォルトのレイアウトを作成します] をプルダウンメニューから選択する

[次] をクリックする

パーティションを削除するか聞いてくるので、迷わず [はい] をクリックし、パーティションを削除する。

<ネットワークデバイス>

[編集] ボタンをクリックする

[IPv4 サポートを有効にする] [起動時にアクティブにする] 以外はチェックを外す。2項目のチェックを確認すること

[IPアドレス] [ネットマスク] を設定する

[ホスト名を手動設定] のラジオボタンをチェックし、ホスト名を入力する

その他の設定の [ゲートウェイ] [DNS] を入力する

[次] をクリックする

<タイムゾーン>

タイムゾーンは迷わず東京を選択

[次] をクリックする

<rootパスワードの設定>

あらかじめ決めておいた root パスワードを2回入力

[次] をクリックする

<インストールパッケージの選択>

[Desktop-Gnome] 1箇所にはチェックを入れる

途中、インストールパッケージの部分で「今すぐカスタマイズ」にチェックを入れる

「次」をクリックすると、インストール詳細が表示される。

<デスクトップ>

GNOME デスクトップ環境 にチェックを入れる

<アプリケーション>

エディタ

グラフィカルインターネット にチェックを入れる

<開発>

チェックを全て外す

<サーバー>
MySQL データベース
Web サーバー にチェックを入れる

<ベースシステム>
X Window System
ベース
管理ツール にチェックを入れる

<仮想化>
チェックを全て外す

<クラスタリング>
チェックを全て外す

<クラスタストレージ>
チェックを全て外す

<言語>
下までスクロールして [日本語のサポート] にチェックを入れる
[次]をクリックする

<インストール開始>
インストール開始画面が表示される
[次]をクリックする

<システム再起動>
インストール完了の画面が表示されたら[再起動]ボタンをクリックして再起動する

再起動後の各種設定

「ようこそ」画面が表示される
[進む]をクリックする

<SE Linux>
プルダウンメニューから[無効]を選択する
[進む]をクリックする

<ファイアウォール>
プルダウンメニューから[無効]を選択する
[進む]をクリックする

<Kdump>
なにもしない
[進む]をクリックする

<時刻>
確認する
[ネットワークタイムプロトコル]タブのNTP（時間同期）は有効にチェックを入れる
[進む]をクリックする

<ユーザー作成>
あらかじめ決めた一般ユーザーのIDとパスワードを入力してユーザーを1つ作る
[進む]をクリックする

<サウンドカード>
何もしない
[進む]をクリックする

<追加のCD>
何もしない
[進む]をクリックする

<システム再起動>
確認ウィンドウの [はい] をクリックして再起動する

再起動後、root ユーザーでログインする。

[システム][管理][サービス]から

Sendmail
yum-updatesd

上記サービスのチェックを必ず外す

チェックを残すものは以下のサービス（とりあえず）

anacron
atd
autofs
cpuspeed
crond
firstboot
gpm
haldaemon
iptables
kudzu
messagebus
microcode_ctl
netfs
network
ntpd
rpcgssd
rpcidmapd
smatrd
sshd
syslog
vncserver

（そのほかにも必要のないサービスはチェックを外す、OSにより異なる）

コマンドラインから
ntsysv [Enter]
と入力して一気に変更することも可能

[保存]をクリックする
[×]で閉じる

<ネットワーク設定>
インターネットに接続できるようにする
[システム][管理][ネットワーク]から、ホストタブでホスト名以外の全ての名前のを

消す

<プロキシサーバーを使う場合は設定する>
[システム][設定][ネットワークのプロキシ]でプロキシサーバーを設定する

<ファイルフォックスのプロキシを設定する。>
[アプリケーション][インターネット][Firefox Web Browser]でFirefoxを起動
ファイルフォックスの[編集][設定][接続設定]ボタンをクリックしてプロキシサーバーを設定する

<システム再起動>
[システム][シャットダウン][再起動]で再起動する

再起動後 root ユーザーでログインする。(インストールする時は基本rootでログインする)

<GNOME 端末起動>
[アプリケーション][アクセサリ][GNOME 端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

※ここで、エディタとファイル・ブラウザ、インターネットブラウザ (Firefox) の起動も確認しておく (これからよく使う)

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME テキストエディタ]
[アプリケーション][システムツール][ファイル・ブラウザ]
[アプリケーション][インターネット][Firefox Web Browser]

<GNOME 端末 内でコマンドを入力する>
[アプリケーション][インターネット][Firefox Web Browser]を立ち上げる
<http://library.nara-u.ac.jp/nara/xoonips/inst.txt> に接続し、表示させる (この頁から必要コマンドをコピーして貼り付ける)

<yumインストールの設定 (1回目のアクセスは時間がかかる) >

```
# yum install yum-fastestmirror -y [Enter]
```

(相手先が落ちている場合、ネットの速度等もあるので、繋がらなかった場合は時間をおいて接続してみる)

<現状のシステム全体のアップデート (時間がかかる) >

```
# yum update -y [Enter]
```

<インストール>

```
# yum install httpd mysql php gcc gcc-c++ glib-devel glib2-devel libgsf-devel  
php-mysql php-gd php-mbstring php-devel php-xml php-pear php-pecl-Fileinfo  
poppler-utils lynx mysql-server wget make -y  
[Enter]
```

上記のように入力して一気にインストールする。インストール済のものはインストールされない

<GNOME 端末終了>
[×]で閉じる

<フェドラエクストラからインストールする>

アップデート相手先にフェドラエクストラを追加
/etc/yum.repos.d/ に
Fedora-Extra.repo
というファイルを作成し、内容を以下の通りにする

<ファイルを作成する・GNOME 端末起動>
[アプリケーション][アクセサリ][GNOME 端末]をクリックしてコマンドライン入カウイン
ドウを起動する。

```
# gedit /etc/yum.repos.d/Fedora-Extras.repo [Enter]
エディタが立ち上がるので、以下コピーする
*-----
↓↓↓ここから↓↓↓
[fedora-extras]
name=Fedora Extras 6
baseurl=http://ftp.iij.ad.jp/pub/linux/fedora/extras/6/$basearch/
enabled=1
gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-fedora-extras
gpgcheck=1
↑↑↑ここまで↑↑↑
*-----
```

<保存して終了する>
[保存]ボタンをクリックする
[×]でgeditを閉じる

次に、
/etc/pki/rpm-gpg/ にGPGのキーファイルを置きます。ここに
RPM-GPG-KEY-fedora-extras
というファイル名で、以下の内容のファイルを作成する

<ファイルを作成する・GNOME 端末起動>
[アプリケーション][アクセサリ][GNOME 端末]をクリックしてコマンドライン入カウイン
ドウを起動する。

```
# gedit /etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-fedoras-extra [Enter]
エディタが立ち上がるので、以下コピーする
*-----
↓↓↓ここから↓↓↓
-----BEGIN PGP PUBLIC KEY BLOCK-----
Version: GnuPG v1.0.7 (GNU/Linux)
mQGIBEG+vu8RBACyH3cUsp+DXbyIvZ075bGDjhRcF8m44UW2cCQd0/45CJBkRnC
AA6SHthCrXCVKIuuo1jSwy8kMXt1P/7IpF6Tc8ZMzcHKTyNetuuD/A7oavgnrJNb
QVTScqbD6VrvjUAPpDz5TMPqMMFYwyIp+ySKMQpoPOYoqdNE3XwnA5vOywCg44+S
KDWIvOj5xCeIAoa47VmgF2cEAK/FIZRkbb7+i2Fob1mxKsnuLN/xx67aBpU2w7HO
scVnkke08lRestDvk/6xb+lrg+gVLdNBfAANBrOcwRv2heu+Zu3PZGuC166/JWFM
kx5a9TkIOzQAaw72LqKeX4VDBRz5fUoIs/C+3aGc5Mh+h8fZYjJGf0kr/90rnd/Oe
WqsBA/9ONAr dHN44aIct7xku/t98p9Da04A7kRYTHlLrBk5i0U4JJXKei7ZAznI4
Or//8ATepQdsBMCJVx1Ss/vJKxupLG9Mw43nbNuA5SmOSPnAoyglYadKyaUXBbVj
mkqf9ZkjOMfD5u9PEWMMWq3f8uf05qxsrbDeiyc7Fk0jBYTvnR4RmVkb3JhIFBy
ZSBFeHRyYXMGUmVsZWFzZSA8cHJlLVV4dHJhc0BmZWRvcmlwcm9qZWN0Lm9yZz6I
XgQTEQIAHgUCQb6+7wIbAwYLCQgHAwIDFQIDAyYCAQIEAQIXgAAKCRCC7ZUEGscM
5uAMAKC+XaPSCYIpdcmJYEe9rNxYMz/hLwCeOyBYUYA2LOWnbfXuNafRqwtA/s2I
RgQSEQIABgUCQgd+/AAKCRCC0mnQTypv0lVYAJoCLoIPSuAj873GbV2+m3Bj6sS/
UACeNcDmIWeruRld83uSQCx4xJyEOUa0KUJlZG9yYSBQcm9qZWN0IDxmZWRvcmlw
ZXh0cmFzQHJlZGhhcD5jb20+iF4EExECAB4FAkIAeFQCgGwMGcwkIBwMCAxUCAwMW
AgECHgECF4AACgkQgu2VBBRHD0Yu8wCfFlm57mvcYApV7eqvHXr29gNAbLwAoJVq
```

[inst. txt]

```
JWvgBIvg8/4Mi qwKAQ1MDkIU iEYEEhECAAyFAkIA/wQACgkQtEJp0E8qb9LQJACf
cOLteS513+506erQ07RBUxC/NI4AniDhk+0gf5l5Gs2ciwD+WapsZ4mPtDBGZWRv
cmEgUHVjvAmVjdCA8ZmVkb3JhLWV4dHJhc0BmZWRvcMfWcm9qZWN0Lm9yZz6IXgQT
EQIAHgUCQgB4iQIbAwYLCQgHAWIDFQIDAxYCAQIEAQIXgAAKCRCC7ZUEGscM5gZ7
AJ9n8CYN6nvMqxCbQQZwvs7e/J4//QCeM3nDwC5EfEbEtOHPIYAqTf3IQZaIRgQS
EQIABgUCQgD/BAAKCRCC0QmnQTypv0qKuAJ0cnqk9BbbbIRSBbn72bK/BAquzywCe
M7SOC6rfrYIf0jQHqdvB5G itT9u5AQ0EQb6+8RAEAJmsZ5apOFzOFj6RwXOD+nOU
Atdzd3zpTNzu4j8+L750ePutjuwizEmCxKycchuG+gGasLmdxY+xk5AUB7gLt4ms
eKsWyHvQt+H4wG8jj0jHWXlaJkZaYQUxpVPd6/11hkoqpodJ9ckfoI JnpUJWDcd3
HTW7j dq+ZtBXjQl wvh3HAAMHA/9g50+hqjn23d91SaFTkvaAySYZHEF/xm5s0V1X
Z37XNFdl7JRl6BN7y59PE9Nk6qP4yHqH1G2YNDL3BmejChMF5GmEqIuNdnvffvwk
yqPvE7qCv8BhktPqsnrpfmteDFI4vztD08oab9LdkDvQwLHBZpc+wCb4VJz0kaZ
7e7VP4hJBBgRAgAJBQJBvr7xAhsMAAoJEILtIQaxwzmxdYAn3X4X/ENC3V4yPDR
7X6oVeIVr5fvAJ4n5vY10NpvYKV5arzKd8DSW2m5Bg==
```

=N/fy

-----END PGP PUBLIC KEY BLOCK-----

↑↑↑ここまで↑↑↑

※ここまでの「↓↓↓ここから↓↓↓」「↑↑↑ここまで↑↑↑」はコピーしないでください。

<保存して終了する>

[保存]ボタンをクリックする

[×]でgeditを閉じる

<GNOME 端末起動>

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

<インストール>

```
# yum install xhtml xpdf wv -y [Enter]
```

<GNOME 端末終了>

[×]で閉じる

<サービス設定>

[システム][管理][サービス]から

```
httpd
mysqld
```

サービスをチェックする

[保存]ボタンをクリックする

[×]で閉じる

<システム再起動>

[システム][シャットダウン][再起動]で再起動する

root ユーザーでログインする。

=====

【Apacheの設定】

<etc/httpd/conf/ の httpd.confの編集>

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。httpd.confのバックアップを取る。

<バックアップを取る>

```
# cp -p /etc/httpd/conf/httpd.conf /etc/httpd/conf/httpd.conf.org [Enter]
```

<ファイル内容を修正する>

```
# gedit /etc/httpd/conf/httpd.conf [Enter]  
エディタが立ち上がる
```

*-----

<修正する (E U C) >
AddDefaultCharset UTF-8

↓

```
# AddDefaultCharset UTF-8
```

*-----

<修正する (U T F 8) >

修正箇所なし

※ (次期バージョンのXOOPS (cube) からUTF-8に標準で完全対応します。その場合、このコメントアウトは外す必要があります。XooNIps、Libraryモジュールは以前より対応済みです。)

<保存して終了する>

[保存]ボタンをクリックする
[×]で閉じる

<httpdを再起動する>

[システム][管理][サービス]の httpd サービスをグレーダウンする
[再起動]ボタンをクリックする
[×]で閉じる

<GNOME 端末終了>

[×]で閉じる

<動作確認>

Firefox で http:// I P アドレス/ で確認画面が表示されるとOK

=====

【MySQLの設定】

</etc/my.cnfの編集>

※ (これはMysqlが初回起動する前に行う必要がある。また、/etc/my.cnfを修正する前に必ずバックアップを取ること!!!)

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

<バックアップを取る>

```
# cp -p /etc/my.cnf /etc/my.cnf.org [Enter]
```

<ファイル内容を修正する>

```
# gedit /etc/my.cnf [Enter]
```


エディタが立ち上がる

*-----

<以下のようにする (E U C) >
[mysqld]セッションに以下の2行をコピーする

```
default-character-set = ujis  
skip-character-set-client-handshake
```

*-----

<以下のようにする (U T F 8) >
[mysqld]セッションに以下の2行をコピーする

```
default-character-set = utf8  
skip-character-set-client-handshake
```

<my.cnfを保存して終了する>
[保存]ボタンをクリックする
[×]で閉じる

<mysqlの再起動>
[システム][管理][サービス]からmysqldサービスをグレースタップする
[再起動]ボタンをクリックする
[×]で閉じる

<MySQLユーザーの設定>

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

```
# mysql -u root [Enter]
```

```
mysql> ←これでmysqlに入れた
```

<ユーザーとパスワードの確認>

```
mysql> select user,host,password from mysql.user; [Enter]
```

<mysqlの root ユーザーにパスワード設定>

```
mysql> set password for root@localhost=password('***'); [Enter]  
(***に実際のパスワードを入力する)
```

<匿名ユーザーがいる場合は削除する>

```
mysql> delete from mysql.user where user '' ; [Enter]
```

<不要ユーザーがある場合は削除する>

```
mysql> drop user ''@127.0.0.1; [Enter]  
mysql> drop user root@127.0.0.1; [Enter]  
mysql> drop user root@コンピュータ名; [Enter]            など
```

<データベースの確認>

[inst. txt]

```
mysql> show databases; [Enter]
```

<testデータベースの削除>

```
mysql> drop database test; [Enter]
```

※ijformation_schema と mysql は絶対に消さない。Mysqlが動かなくなります

*-----

<xoopsデータベースの作成 : データベース名 : xoops (E U C) >

```
mysql> create database xoops character set ujis; [Enter]
```

<xoopsユーザーの作成・パスワードの設定>

```
mysql> grant all privileges on xoops.* to xoops@"localhost" identified by  
"***"; [Enter]
```

(***に実際のパスワードを入力する)

*-----

<xoops8データベースの作成 : データベース名 : xoops8 (U T F 8) >

```
mysql> create database xoops8 character set utf8; [Enter]
```

<xoopsユーザーの作成・パスワードの設定>

```
mysql> grant all privileges on xoops8.* to xoops8@"localhost" identified by  
"***"; [Enter]
```

(***に実際のパスワードを入力する)

<ユーザーとパスワードの確認>

```
mysql> select user,host,password from mysql.user; [Enter]
```

<mysqlの終了>

```
mysql> exit; [Enter]
```

<mysqlの再起動>

[システム][管理][サービス]からmysqldサービスをグレーダウンする

[再起動]ボタンをクリックする

[×]で閉じる

<GNOME端末終了>

[×]で閉じる

=====

【PHPの設定】

<PHPの動作確認>

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

```
# gedit /var/www/html/phpinfo.php [Enter]
```

エディタが立ち上がる

<? phpinfo(); ?>
上記一行をコピーする

<phpinfo.phpを保存して終了する>
[保存]ボタンをクリックする
[×]で閉じる

※ (/var/www/html に phpinfo.php というファイルを置き、ファイルフォックスから http://localhost/phpinfo.php として開くとPHPが適切に動いているかチェックできる。 /etc/php.ini の修正はXooNIps導入後でも行える。)

<PHPの設定変更>
修正の前にすぐ戻せるように必ずバックアップを行うこと!!!
[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

<バックアップをとる>

```
# cp -p /etc/php.ini /etc/php.ini.org [Enter]
```

<ファイル内容を修正する>

```
# gedit /etc/php.ini [Enter]
```

エディタが立ち上がるので検索して以下の行を修正する（これ以下の5項目はEUC・UTF-8共通）

```
allow_url_fopen : On  
↓  
allow_url_fopen : Off      修正  
  
memory_limit : 16M  
↓  
memory_limit : 128M      修正  
  
post_max_size : 8M  
↓  
post_max_size : 128M      修正  
  
upload_max_filesize : 2M  
↓  
upload_max_filesize : 128M      修正  
  
;session.use_only_cookies : 1  
↓  
session.use_only_cookies : 1      修正、 ; を外す
```

*-----
以下2項目（EUC）の場合のみ修正

```
;mbstring.internal_encoding = EUC-JP  
↓  
mbstring.internal_encoding = EUC-JP  
  
;mbstring.detect_order = auto  
↓  
mbstring.detect_order = ASCII, EUC-JP, UTF8
```

<php.iniを保存して終了する>
[保存]ボタンをクリックする
[×]で閉じる

<httpdを再起動する>
[システム][管理][サービス]の httpd サービスをグレーダウンする
[再起動]ボタンをクリックする
[×]で閉じる

<GNOME 端末終了>
[×]で閉じる

=====

【XOOPSインストール】

*-----

<(EUC)の場合>
インターネットブラウザ (Firefox) で
http://xoopscube.jp/
の 今すぐダウンロード からXOOPSのtar.gz・zipをデスクトップにダウンロードし、右
クリックでその場で展開する
展開したフォルダの html フォルダを丸ごとファイル・ブラウザで /var/www/html
に上書きコピーする

*-----

<(UTF8)の場合>
インターネットブラウザ (Firefox) で
http://xoopscube.jp/
の 今すぐダウンロード からXOOPSのtar.gz・zipをデスクトップにダウンロードし、右
クリックでその場で展開する
展開したフォルダの /Package_Legacy/html フォルダを丸ごとファイル・ブラウザで
/var/www/html に上書きコピー (置き換え) する
展開したフォルダの /Package_Legacy/Extras/extra-languages/ja-utf8/html フォル
ダを丸ごとファイル・ブラウザで /var/www/html に上書きコピー (置き換え) する

<パーミッション (権限) を変更>
[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウイ
ンドウを起動する。

```
# chmod 777 /var/www/html/uploads [Enter]
# chmod 777 /var/www/html/cache [Enter]
# chmod 777 /var/www/html/templates_c [Enter]
# chmod 666 /var/www/html/mainfile.php [Enter]
```

Firefoxで http://IPアドレス/ と入力してインストールを開始する。
※Mysqlデータベース名・ユーザー名など入力

*-----

※UTF8でインストールする場合はインストールする言語を選択してください、で、
ja-utf8 を選択してインストールする。

=====

【XOOPSインストール後の後始末】

<フォルダ削除>

/var/www/html/xoops/install/ フォルダを削除する。(ファイル・ブラウザで行なう)

<コマンドラインからパーミッションを変更する>

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

```
# chmod 404 /var/www/html/xoops/mainfile.php [Enter]
```

<GNOME 端末終了>

[×]で閉じる

=====

【XOOPS以外のモジュール設定】

<XooNIpsモジュールの取得>

http://xoops.sourceforge.jp/modules/mydownloads/
からXooNIpsのtar.gzをデスクトップにダウンロードし、右クリックでその場で展開する
展開フォルダ内にxoopsフォルダがあるので、丸ごと /var/www/html/modules/ 内にコピーする

<XooNIps-libraryモジュールの取得>

http://sourceforge.jp/projects/xoonips-library/releases/
からxoonips-libraryのtar.gzをデスクトップにダウンロードし、右クリックでその場で展開する
展開フォルダを丸ごと /var/www/html/modules/ 内にコピーする

<インストール>

XOOPS管理者でログインし、[管理メニュー][システム管理][モジュール管理]からモジュールという形でインストールする。
「i」と書いていないボタンをクリックして次の画面の[インストール]ボタンをクリックすると完了。

<ファイルアップロードディレクトリの変更>

ファイルアップロードディレクトリ を /var/data に変更する。

</var/に /data フォルダを作成する>

[アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。

```
# mkdir /var/data [Enter]  
# chmod 777 /var/data [Enter]
```

<GNOME 端末終了>

[×]で閉じる

<更新ボタンをクリックする>

(/tmp・/var/tmp は使用しない。ここにファイルを置くと、OS再起動の度に削除されてしまう)

[XooNIps 設定][システム設定][動作確認] で動作確認を行う

(エラー箇所(赤い部分)は適宜設定ファイル(主にphp.ini)を修正して再度エラーチェックする)

=====

【公開にあたって】

- ・ XooNIpsでは、サーバー外よりhttpdで設定しているポートからのみアクセスが行われるためそのポート（標準では80番）を外向けに解放する必要がある。
 - ・ SELinuxの設定も容易にできるが、ここに引っかかる可能性もあるため、インストール時はファイアウォール同様に停止しておいた方が良い。
 - ・ サーバー内では、標準で3306番ポートによりphpからMySQLへのアクセスがある。要解放。
 - ・ バックアップは少なくとも以下をとること
1. データ格納フォルダ（例：/var/data以下）
 2. Webコンテンツ（例：/var/www以下）
 3. データベース（例：/var/mysql以下 ただし、mysqldを停止中にとること）
 4. 各種設定ファイル（ httpd.conf php.ini my.cnfなど ）

※参考////////////////////

<http://masaru.org/diary/1109.html>

<http://kajuhome.com/yum.shtml>

<http://matsui.homeunix.com/index.php?Linux%2FCentOS%20yum%A4%CE%C0%DF%C4%EA>

<http://masaru.org/diary/1109.html>

<http://mylabox.go2.jp/%A4%AB%A4%E6%A4%A4%A4%C8%A4%B3Tips/Linux/Fedora9%A5%A4%A5%F3%A5%B9%A5%C8%A1%BC%A5%EB%A5%E1%A5%E2/#19f9acc9>

http://ja.wikipedia.org/wiki/Fedora_Core